緩やかな傾斜、車イスで楽々参拝

鎌倉宮のスロープ参道開通式

鎌倉宮（船橋信彌宮司）の境内に完成した「スロープ参道」の渡り初め式が、例祭の8月20日午前9時から行われた＝写真。

清めの儀式のあと、島居そばのスロープの入り口で船橋宮司や石渡徳一市長、鎌倉市社会福祉協議会の大嶋文夫会長、神社崇敬会代表らがテープカットした。そのあと身障者授産施設の車イスの市民3人と参会者らが渡り初めした。緩やかなスロープの感触を確かめるように歩いた。

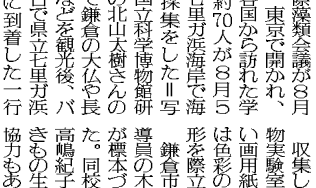
このスロープの参道は本殿に行くまでに2カ所、合わせて19の石段があり、車イスの人たちや高齢者らが困っていた。バリアフリー新法の施行もあって、本殿に向かって左側の岩盤、樹木を整備して造った。

全長約60㍍、傾斜約3㍍の舗装道で、傾斜8度とゆるやか。工費は藤沢市内の崇敬者が百寿の記念として全額奉納した。この開通で近くに住む元市議の大村貞雄さんが、車イス1台を同宮に寄付した。

「スロープ参道」完成の事は反響があり、「よいものができた」と次々、見学に訪れた。

鎌倉で仏像見学と海藻採集

国際会議参加の学者ら70人



国際藻類会議が8月上旬、東京で開かれ、世界各国から訪れた学者ら約70人が8月5日、七里ガ浜海岸で海藻の採集をした＝写真。国立科学博物館研究員の北山大樹さんの案内で鎌倉の大仏や長谷寺などを観光後、バス3台で県立七里ガ浜高校に到着した二行は、波打ち際を歩いて藻を集めた。カジメ・アラメなど褐藻類、アオサ・ミルなど緑藻類、テングサ類などの紅藻類などの藻が打ち上げられており、ビニール袋に分類しながらつめた。

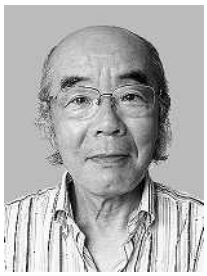
収集した藻は同高校の生物実験室で標本にした。白い画用紙にひろげられた藻は色彩の鮮やかさと繊細な形を際立たせていた。

鎌倉市緑のレンジャー指導員の木村光子さんら4人が標本づくりなどを手伝った。同校の有森斉副校長、高嶋紀子教諭らや1年のいきもの生態部員中村賢君の協力もあった。

ひと

NPO法人になった「鎌倉ガイド協会」会長

斎藤顯一（さいとう けんいち）さん



年間2千万人といわれる鎌倉への観光客。その人たちは史跡めぐり、寺社の拝観、海や山の散策で鎌倉を楽しむ。

「鎌倉ガイド協会」は年間約2万5千人を寺社などに案内し、延べ約2千人のガイドを派遣している。その活動が認められ、昨年暮れ、NPO（特定非営利活動）法人格を取得し、現在の名称に変更した。

「法的な面で社会的に認められることで、信用度が高まり、いっそう充実した活動が可能になると思う」

この7月に会長に就任した齋藤さん。

同協会は鎌倉市が史跡・歴史などを解説して鎌倉のよさを理解してもらうほか、高齢者の社会参加を目的に、60歳以上の人を対象に募集した「ガイド養成講座」が発足のきっかけ。90年に教養センターで開かれ、その受講生らが翌91年4月「鎌倉ンルバー・ボランティアガイド協会」の名称でスタートした。当初の会員は31人だった。

その後、何度か募集が行われ、最近入会した07年の7期生の年齢は55歳に引き下げられた。

齋藤さんは98年に受講し、99年に入会した4期生。

ガイド団体の会議にも出席する。

従来の任期は1年だったが「顔を覚えないうちに交代しまう」と外部からの要望もあり、前任者から2年となった。

「自分が調べ上げて得た知識をお客さんにどう伝えるか楽しみ」

以前から歴史研究の「鎌倉史の会」というサークルを主宰している。古い歴史の文献から資料を集めることに面白みを感じるという。精密機器の会社の現役時代は技術研究調査をしていた。

協会の事業は毎月定例の「史跡めぐり」がA3コースと特別コースがある。

「こんなに仕事があるとは思わなかった」

会長として市の世界遺産登録推進協議会や、県下のほかに小中・高校の校外学習、旅行社のツアーの案内、個人や団体の個別ガイドなどしている。

現在の会員は約90人。ガイド全員がすべての地域と分野に熟知しているという。

「史跡めぐり」は一日百人～150人ほどの参加があり、平均20人に1人のガイドがつく。

ガイドの手引書があるわけではなく、各ガイドが独自の多彩な切り口で案内をしているという。

「気持ちはボランティア、ガイドそのものはプロ」。初参加の人もリピーターとも興味を持てる話をし、一人で参加している人も楽しんでもらうことを大事にしている。

「『楽しかった』『また行きたい』といってもらえたら何よりです」

梶原在住、75歳。（C）

同協会☎24・6548

（5面に「史跡めぐり」のご案内）

夏の風物詩のぼんぼり祭人気

鶴岡八幡宮の参道を彩る

鎌倉の夏の風物詩「ぼんぼり祭」が8月6日から9日まで鶴岡八幡宮で行われ、ぼんぼり339個が境内参道に飾られた＝写真。

1938年に「鎌倉らしい文化の香りある行事を」と始められ、71回目。

市内在住の平山郁夫、小泉淳作、大津英敏さんら画家や著名人らの花鳥風月の書画がぼんぼりに仕立てられた。初出展の民主党の鳩山由紀夫代表の「友愛」の書、土田直敏の描いた女優の森光子さん、マイケル・ジャクソンさん、オバマ米大統領などの似顔絵の作品もあり、じっくり見て楽しむ人もいた。

夕方6時半ごろからぼんぼりにローソクの火がともされ、暗がりにほのかに浮かび上がるさまは風情があり、ゆかた姿で見物する人が多かった。

降雨の中、買い求めにきた人も

風物詩のかまくら福祉の朝顔市

「楽しみにしていた」と降雨の中、買い求めに訪れた人も多く、育成などに携わった福祉の人たちを感激させた。かまくら福祉の朝顔市実行委員会（大嶋文夫会長）主催の第5回朝顔市は8月1、2の両日、鎌倉宮境内で開かれた＝写真。

例年になく天候不順で心配された天気は1日目は好天で青空、強い日差しと真夏の雰囲気となり、売れ行きも好調だった。2日目は曇りから土砂降りの荒天となった。午後から晴れ間もあったが、出足をそがれた。

そんな雨の中、1鉢、2鉢買い求めていく人もいた。横浜、東京などからの人もいた。「きれいな花をつける朝顔は安らぎをくれる。頑張っていつまでも続けてほしい」と言葉をかけて行く人もおり、福祉関係者らを感激させていた。

総売上は1・20万円ほどになり、各種の経費を差し引いた利益は参加の福祉施設らに還元される。今年は日照不足で開花がやや遅れ気味だったが、つぼみはいっぱいつけていた。

初日には石渡徳一鎌倉市長も訪れた。鎌倉社協の大嶋会長や小川研一常務理事ら社協の職員、福祉施設の責任者ら、同宮周辺の鎌倉第一社協（小泉親昂会長）の民生委員ら二日間で延べ、百人ほどがボランティアで協力した。売れ残った朝顔は鎌倉宮の8月19、20日の例祭に即売された。

サワガニや小魚、ヤゴいたよ

二階堂川で親子ら川遊び

鎌倉市八園協会の主催する講座「思いっきり川遊び」が7月25日、二階堂川で行われ、親子約40人が参加した＝写真。鎌倉宮から川の流れに沿って遡り、やがて山道へ。次第に川の流れが細くなり、ついに水源にたどり着いた。

「ここから川が生まれるんだ！」「わあ、冷たい」と水に手を浸す子どもたち。森の木の葉や土に受け止められた雨水が、谷戸あいからしみ出し川になる様子を体感した。

少し下流の淵で網を持って生き物探し。子どもたちは水しぶきをあげて川に入り、サワガニや、海と川とを行き来するヨシノボリ、渓流にすむコオニヤンマというトンボのヤゴを見つけた。

「いろんな生き物がいるんですね」と保護者らも目を丸くする。（E）

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎（22）1460

“国産松茸と秋の旬フェア”開催中
—お一人様　¥5,775(税込み)より—
9月・10月
中国料理
鎌倉山下飯店
TEL 0467-22-8855
鎌倉警察署前 鎌倉 Mori B1 FAX 0467-25-6954

明日への一買に、つながっている。
朝日新聞
2009年 今年も朝日新聞が、大学入試出題数 ダントツ No.1
260大学 500問題 542記事
※2009年5月18日現在 集計:ブランディット
朝日新聞と他紙との差は歴然！
読んでないと、はじまらない。
ASA 鎌倉小町販売
鎌倉市小町1—15—2
☎0467(22)3236
取扱紙　朝日・日経・朝日学生新聞・日刊スポーツ・他・諸紙

お手伝いサービス
手軽なお掃除 ●女性一人で伺います ●お宅のお道具を使用させていただきます
定期料金（月2回以上）
3時間…6,900円
税込み 7,245円
(有)アイ・ハウスクリーン
TEL 0467-24-4400
0120-24-0409
鎌倉市大町2-5-26
http://www.iclean.co.jp